

# みやこんじょ



## No.38

発行日 2015年1月1日  
 発行 独立行政法人国立病院機構都城病院  
 宮崎県都城市祝吉町5033番地1  
 TEL 0986-23-4111

基本  
 理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

## 新しい年の初めに

病院長 井 口 厚 司

新年あけましておめでとうございます。2015年は未(ひつじ)年です。「未」という字は、枝が十分に伸びきっていない形を表したものとされており、本来の読みは「み」ですので未来とか未明、未完成など、未だに到達していない意味の熟語に用いられます。

当院は昨年10月に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受けました。これまで本誌を通じて何度か述べましたように、受審した最大の目的は第三者評価を受けることにより病院の質の改善につながれば、との思いからであります。受審することをきっかけとして達成できた、あるいは意識改革ができたと思われることも少なくないのではないのでしょうか。当院を訪れる患者さんからも、「この病院は何か少し変わった」との声が聞かれます。その一方で、まだまだ「未」到のもの、「未」熟なものもあります。その上、受審間際まで誰もが持っていた緊張感は、審査終了後の時間経過とともに次第に薄れてきています。機能評価の結果はともかくとして、病院としてもスタッフ個々にしても、「未」のものは達成を目指し、達成できているものは継続するように心がけてほしいものです。

当院においては待ちに待った外来診療管理棟の新築工事が昨年秋から始まりました。病院を訪れる方々や職員にも駐車場などで多大な迷惑をかけており、心苦しく思っています。それでも今年の11月には本体部分が完成し、外来を受診する患者さんのみならず入退院の患者さんやご家族においても医療環境が一際よくなります。また職員にとりましても様々な面で働きやすくなると確信しています。とくに新しくできる会議室や研修室などの共用部分は広く充実していますので、院内外の大人数のスタッフの研修など多方面で活用できるようになります。どうぞ、今から胸をときめかせて完成を期待してくだ

さい。また、それより早く4月には当院の近くに市郡医師会病院が新築移転してきます。これからの医療は、それぞれの医療機関が患者を奪い合うのではなく、役割分担を明確にして協働しながら地域完結型医療を目指していくことが求められています。今後、医療と介護・福祉が一体となって住民を見守っていく地域包括ケアシステムが構築される中で、当院は急性期医療の基幹病院として医師会病院をはじめとする急性期病院と共に地域の医療を支える役割を担っていかねばなりません。そのためにも、かかりつけ医(医科・歯科)、薬局、介護施設、居宅系サービス事業所、行政などとも情報を共有し、今以上にしっかりした連携を進めていくようにしたいと思っております。

羊は群れをなす動物の象徴としてよく語られますが、実は羊の群れにはサルのように上下関係はなくボスやリーダーはいないのだそうです。したがって皆が対等の関係の中で、群れの一匹が動き出すとすべての羊が一斉に同じ方向に動き始めるのだそうです。このような習性から、未年は家族の平和、安泰を意味すると言われていています。どうか皆様のご家庭も今年一年無事でありますように。



### 第4回病診連携の夕べ

平成26年11月27日に第4回病診連携の夕べを開催しました。今回は放射線科の緩和的放射線療法と耳鼻咽喉科の頸部腫瘍の鑑別法と泌尿器科のおしっこに関する話題あれこれの三つの講演がありました。また、情報提供として中央検査部より重症感染症のマーカーとしてのプロカルシトニンについてワンポイント講座がありました。医師24名、その他の職種が47名の総数71名の参加があり会場を埋めました。この病診連携の夕べは、開業医の先生方が診療科を問わず日常診療に直結し、すぐにでも診療に役立つような内容をテーマとして開催しており、それぞれの内容は医師以外の職種でもわかりやすく、通常の講演会(メーカー主催)では聴けない話で興味深いと先生方からの声もあります。昨年9月に第1回目を開催し、都城では病診連携の夕べと言ったら都城病院の勉強会と定着してきており、当院の情報を地域に発信しながら顔の見える連携と地域医療を支えていく先生方との関係を深め地域の医療向上に努めたいと思います。(経営企画室長 西山信二)

### 歯科病診連携の夕べ



**日時** 平成27年1月14日(水) 19:30~20:45

**場所** 都城病院 教育研修棟



**講演**

- 1 都城病院における周術期口腔機能管理の現状  
国立病院機構都城病院  
歯科口腔外科 新屋 俊明
- 2 外科疾患と歯科・口腔外科との関係  
～消化器癌患者の消化吸収における歯の重要性～  
国立病院機構都城病院  
外科部長 後藤 又朗

**お問い合わせ** 都城病院 地域医療連携室  
TEL 0986-23-4111(239)



国立病院機構 都城病院

## 健やか出前講座 ご案内

当院には、専門性をもった看護師が、病院外でも行われる研修等の学習の支援を行っております。施設で「こんな時、どうすればいいの?」「これって何?」など、日頃の業務や看護でお困りの事がありましたら、是非、ご連絡ください。

皮膚排泄ケア認定看護師	褥瘡予防とスキンケア・ストーマケアの実践を学ぼう
がん性疼痛看護認定看護師	薬物療法や患者指導、緩和ケアなど
新生児集中ケア認定看護師	NICU看護の知識と技術・フィジカルアセスメント
感染管理認定看護師	感染予防の基礎知識から流行感染症の対応
がん化学療法看護認定看護師	化学療法が患者に与える影響や暴露予防
リンパ浮腫指導技能者	乳癌等の術後リンパ浮腫のケアなど実践
栄養サポート専門療法士	栄養管理に関する知識 経管栄養の方法や必要栄養量の算出・評価
フットケア指導士	実演を通じたフットケアの方法や指導方法

※地域の皆様に、少しでもお役に立てればと願っております。

少人数の勉強会からでも結構ですので、お気軽にお申し込みください。(副看護部長 三島潤子)



スタッフ

どうしよう?!こんな時、何をすればよいの?

大丈夫ですよ!  
私達が支援します!



リソースナース

連絡先

国立病院機構都城病院 地域医療連携室

☎ 0986-23-4111 (内線 239)

フリーダイヤル: 0120-411-329

FAX: 0986-26-1893

E-mai: trenkei@miyakon2.hosp.go.jp



## クリスマスコンサート in 都城病院



平成26年12月16日(火曜日)に、当院1階ラウンジにて、「第2回クリスマスコンサート in 都城病院」を開催しました。会場となった1Fラウンジは、クリスマスコンサート会場に彩られ、オープニングの地域医療連携室によるハンドベルで幕を開けました。ハンドベルの優しい音色に、涙を流されている患者さんの姿が印象的でした。続いて小児科の榎木仁先生のピアノ演奏にあわせ、サプライズゲスト、みやざき犬「むうちゃん」と看護師長会のコーラスでは、聞きなれた曲を患者さん、家族が口ずさんでいました。また、榎木先生のブラームスの「ワルツ」のピアノ独奏もあり、プロ並みの演奏を満喫しました。

次は今回初登場の副看護師長会のコーラスでしたが、ユニークな衣装と活気のある「きよしのズンドコ節」は南日本酪農協同株式会社の協力を得てマスコットの「ディリー坊や」「モーモーちゃん」が一緒に踊ってくれました。会場は掛け声や歓声と手拍子で大変な盛り上がりでした。そして、昨年につづき、呼吸器外科加藤文章先生による穏やかなギター演奏と、整形外科医長吉川教恵先生の声量感あふれる歌のコラボは実に感動的でした。最後は4病棟看護師横尾征八さんと福田美幸さんのピアノ演奏が披露され、白衣姿とは違う一面を知ることができました。ステージ後半は、3体のキャラクターマスコットとのダンスや体操を楽しみました。そしてサンタクロース等に扮した当院の職員と、マスコットとでクリスマスプレゼントの手渡し、撮影会などでコンサートを無事終了しました。

今回は、院内の各部署の協力はもちろんのこと、院外から、キャラクターマスコット3体の出演の協力を得る事ができ大変有りがたかったです。会場に沢山の笑顔があふれた「元気になる！」クリスマスコンサートでした。

(文責：地域医療連携部副部長 鳥丸章子)



## クリスマス会を終えて

看護学校自治会では、都城病院に入院されている患者さんを楽しいひと時を過ごしてもらいたいと思い、クリスマス会を開きました。たくさんの患者さんやご家族の皆さん、病棟の看護師さんに参加いただき、和やかな雰囲気で行うことができました。

病棟ごとに工夫し、ジェスチャーゲームや、○×クイズ、輪投げやボーリングなどのレクリエーションを行いました。実習中に見る病気や治療でつらそうな患者さんからは想像できないほど、会場にはたくさんの笑顔と笑い声があふれていました。最後には、全員でクリスマスソングを歌い、患者さんから「楽しかった」と言葉をかけていただき、私の心もとてもあたたかくなりました。



病状や治療によって会に参加できなかった患者さんのもとにも、心を込めて作ったクリスマスプレゼントをお届けしました。少しでもクリスマスの雰囲気を感じ、入院生活の力になるといいなと思います。

クリスマス会を通して、入院中の皆様が、一日も早くお元気になられることを願っています。

(文責：都城病院附属看護学校 67 回生 松留真実)



## 「患者の安全を守るための共同行動」の標語を募集して

「患者の安全を守るための共同行動（PSA）」の一環として、「医療安全推進週間」が設けられています。毎年度11月25日を含む1週間を医療安全推進週間とし、今年は2014年11月23日（日）～11月29日（土）まででした。

医療安全管理部では医療安全向上のため、昨年度、看護部では説明・同意書についての「あいうえお」作文、部門は確認行動の標語を作成し1週間取り組みました。「あいうえお作文」や標語の最優秀賞には院長賞が贈られました。さて今年はどうするか？三島副看護部長より「前施設は標語を募集しカレンダーを作りましたよ」とのアドバイス。そうだ今年も標語を募集しカレンダーを作ろう!! 早々に募集開始。集まった標語は59個でした。傑作揃いで、中には今年の流行語対象のパロディーまでありました。今年度は職員全員へ投票用紙を配布し順位を決定しました。投票数332票、職員の80%が投票し関心の高さを感じました。

そこで選ばれた標語第1位は看護学校「チェックしたつもり、確認したつもり、つもり積もって事故のもと」第2位は薬剤科「何か変 思った時には再確認」同率2位は理学療法室「思い込み 初心に戻って 再確認」第4位は手術室「あぶないよ いいじゃないの うっかりしないで ええじゃないの 思い込みはダメよ ダメダメ!」第5位は5病棟「てげてげ確認 ダメよ～ダメダメ!!」でした。まだまだいっぱい紹介したいのですが、H27年度のカレンダーが出来るまでお待ちください。写真撮影を行い4月に各職場へ配布いたします。少しでも標語が注意喚起となり安全・安楽が提供できるように願っています。

(医療安全管理部 副部長 有田真弓)

## 都城病院院内文化芸術祭

職員の健全な文化・教養活動を通じてその元気を回復し、また相互の親睦を深め並びに勤務能率の向上および増進に資することを目的として「都城病院院内文化芸術祭」が開催されました。

テーマは自由で、絵画・写真・ビデオ動画作品等を6月～10月の期間募集いたしました。

初めてということもあり、当初なかなか作品が集まらなかったのですが、ようやく7名の方から15作品の応募をいただき、多目的ホール「ふれあい」にて展示されました。

内容は多岐にわたり、院内でこれまで飾られてきた季節の草花のフラワーアレンジメントの写真集、愛犬の写真や絵手紙集、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014ひゅうが宮崎大会の寄せ書き集、日常の中の一風景、旅行中の一コマ、院内ソフトボール大会でのワンショット等、心を癒やされる作品の数々が寄せられました。

来年もまた院内文化芸術祭を開催したいと考えております。

これはと思う作品のご応募をぜひお待ちしております。

(管理課長 村尾浩一)



## 国立病院総合医学会に参加して

11月14日・15日の2日間第68回国立病院総合医学会が横浜市で開催されました。

当院からは一般口演に診療部1題、看護部1題、事務部6題、検査科1題、看護学校1題の計10演題、ポスターセッションに看護部3題、検査科1題の4演題が登録され、発表を行いました。

なかでも事務部は臨床研究実績ポイントに少しでも多く貢献することを使命として事務部長のかけ声によりそれぞれの課から参加登録いたしました。

秀逸な発表演題が多い中、事務部では企画課の「退院前・退院後面談とコンビニ支払いについて」と患者サービスの取り組み「患者・家族にやさしい病院を目指して」の2題がなんとベスト口演賞をいただく結果となりました。

(管理課長 村尾浩一)



2014年11月14、15日パシフィコ横浜で「第68回総合医学会」が開催され参加してきました。婦人科疾患セッションで昨年度取り組んだ看護研究の「化学療法中の患者を受け入れる家族の思いについて」発表してきました。会場では、各セッションに分かれて様々な職種の方々が各自の分野で取り組まれた成果の講演やポスターでの発表をされていました。

様々な発表をきくことで看護だけでなく多方面から考える視点について学び知識を得ることができる良い機会となりました。看護研究に快く御協力頂いた患者の皆様と御家族のおかげでベスト口演賞も受賞することができました。大変な治療の中協力して頂いたことに心より感謝いたします。今回での学びを活かしてこれからもより良い看護を提供していけるよう、努力してまいります。

(1病棟 看護師 小野田 絵理花)



## 年男・年女

麻酔科医師 岩崎 竜馬

医療情報管理部 西久保 早希

麻酔科医師の岩崎です。

早いもので4回目の年男を迎えました。気持ち若いつもりでも、身体がついていかない状況が表に現れ始めました。まだ小さい子供の世話に、体が悲鳴を上げています。

無理をせず、体を労わって、長く働けるように精進していきます。趣味のボウリングでも、もう一度全国大会で記録を残したいです。

今年のモットーは『等身大』。無理な背伸びはせず、手を抜くこともせず、出来る範囲を全力でやるのが目標です。

これからもよろしくお願いします。

今年度の4月に医療情報管理部で採用されました西久保早希です。

社会人としてまだまだ未熟で日々勉強です。先輩方にもたくさんの迷惑をかけています。

しかし今年は、メンタルを強く、自信を持って働けるよう成長していきたいと思えます。

がんばります!



# 外来診療科別週間担当医当番表

独立行政法人 都城病院  
国立病院機構

受付時間 8:30 ~ 11:00

【平成 26 年 12 月 1 日】

診療科名等		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科 (血液内科は紹介予約制) <sup>*1</sup>	初診	血液 肝	前田 宏一	休診			
	再診	加藤 順也	前田 宏一	前田 宏一 加藤 順也	前田 宏一 加藤 順也 高智 一也 徳 智	前田 宏一 加藤 順也	
	下部消化管内視鏡				橋本 神奈 (午後より)		
循環器内科		阿南隆一郎	阿南隆一郎	阿南隆一郎		阿南隆一郎	
呼吸器内科		後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	
呼吸器外科	初診		前川 信一		前川 信一		
	再診	手術日	前川 信一 加藤 文章	手術日	前川 信一 加藤 文章	手術日	
小児科 (午後は完全予約制)	午前	1診	榎木 仁	榎木 仁	今屋 雅之 並河 紳	並河 紳	
	午後	1診	榎木 仁	横山 晃子 (NICU退院後乳児健診)	並河 紳	横山 晃子	今屋 雅之 (カニューレ交換)
		2診	今屋 雅之 (一般乳児健診)	並河 紳	今屋 雅之 (一般乳児健診)	榎木 仁	榎木 仁
		3診		榎木 仁	榎木 仁	今屋 雅之	
外科	初診 <sup>*2</sup>	後藤 又朗 後藤 又朗 藏元 一崇	手術日	後藤 又朗 梅崎 直紀		長井 洋平 後藤 又朗 長井 洋平	
	再診				藏元 又は 長井		
整形外科	初診				吉川 教恵 菅田 耕		
	再診	税所幸一郎 菅田 耕	吉川 教恵	手術日		吉川 教恵	
リウマチ科		税所幸一郎	税所幸一郎 (再診のみ)		休診	税所幸一郎 (再診のみ)	
泌尿器科	1診		山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	米澤 智一	山崎 丈嗣	
	2診	手術日	井口 厚司	米澤 智一	上野 貴大	米澤 智一	
皮膚科		中山 文子	中山 文子	中山 文子	中山 文子 <sup>*3</sup>	中山 文子	
産婦人科 (紹介予約制)	初診	徳永 修一	ト部 浩俊	徳永 修一	永井 義雄	ト部 浩俊	
	再診	永井 義雄	終日：徳永修一 午後：ト部浩俊	永井 義雄	ト部 浩俊	徳永 修一	
耳鼻咽喉科 (難聴外来は予約制)	一般	外山 勝浩 池ノ上あゆみ	外山 勝浩 池ノ上あゆみ	外山 勝浩 池ノ上あゆみ	外山 勝浩 池ノ上あゆみ	手術日	
	難聴外来 (14:00~17:00)						
放射線科	初診再診	日野 祐一	新村 耕平	日野 祐一	新村 耕平	日野 祐一	
	放射線治療	新村 耕平	日野 祐一	新村 耕平	日野 祐一	新村 耕平	
歯科口腔外科		田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	手術日	田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	
がんサポート外来(予約制) <sup>*4</sup>		新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	
特殊外来	マザークラス (第二・四日曜日)		フットケア外来	助産師相談室 (午後)	母乳外来	ストーマ外来 (午後)	
			リンパ浮腫外来		リンパ浮腫外来		

### 【その他の特殊診療】

診療科名等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内視鏡センター	上部消化管	気管支	上部消化管 下部消化管	上部消化管 下部消化管 (午後より宮大) 気管支	上部消化管 下部消化管
透視撮影(胃)	外科		外科		
骨塩トック(骨粗鬆症検査)【予約制(14:00以降)】		整形外科		整形外科	

- \*1 医療機関の方へ：血液内科の初診については、事前にFAX連絡票と共に、最新の血液データを送って下さい。
- \*2 外科初診日(月水金)は、紹介初診の患者様の診察は10時以降になります。
- \*3 皮膚科については、毎週木曜日に手術がはいることがありますので、事前にご確認をお願いします。
- \*4 がんサポート外来については、事前にご連絡頂きますようお願いいたします。
- \* 紹介予約制および予約制については、事前にご連絡頂きますようお願いいたします。また各診療科の診察日以外については、急患のみ対応となります。
- \* セカンドオピニオンの受診については、予約制となっております。地域医療連携室までご連絡頂きますようお願いいたします。

〒885-0014 都城市祝吉町5033番地 1 TEL (0986) 23-4111 FAX【地域医療連携室】(0986) 26-1893 FAX【代表】(0986) 24-3864



独立行政法人  
国立病院機構

## 都城病院

(地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-23-3864

E-mail/syomu-2@hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報誌委員会